



# 320 GC

## 油圧ショベル

# 技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat®ディーラーにお問い合わせください。

## 目次

仕様.....	2
エンジン.....	2
旋回機構.....	2
質量.....	2
トラック.....	2
ドライブ.....	2
油圧システム.....	2
整備交換時の容量.....	2
規格.....	2
騒音性能.....	2
運転質量および接地圧.....	3
主要コンポーネント質量.....	3
寸法.....	4
作業範囲.....	5
バケット仕様および互換性.....	6
アタッチメント適合ガイド.....	7
標準およびオプション装備品.....	8
ディーラー装着のキットおよびアタッチメント.....	9
320 GCの環境に関する宣言.....	10

# 320 GC油圧ショベル仕様

## エンジン

エンジンモデル	Cat® C4.4	
定格出力(ネット)		
ISO 9249	109 kW	146 hp
ISO 9249 (DIN)	148 hp(メートル単位)	
エンジン出力		
ISO 14396	110 kW	148 hp
ISO 14396 (DIN)	150 hp(メートル単位)	
内径	105 mm	4 in
行程	127 mm	5 in
総行程容積(排気量)	4.4 L	269 in <sup>3</sup>
バイオディーゼル対応	B20まで <sup>(1)</sup>	

- 米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本2014年排出ガス基準に適合。
- 標高4,500 m (14,760 ft) まで運転可能。ただし、標高3,000 m (9,840 ft) を超えるとエンジン出力は低下します。
- 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
- 表示されている定格出力(ネット)は、エンジンにファン、エアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 定格エンジン回転数は2,000 rpmです。

- <sup>(1)</sup>CATディーゼルエンジンでは、ULSD(硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料)または次を上限として、より低い炭素強度燃料を混合したULSD\*\*を使用する必要があります。
- ✓ 最大20%のバイオディーゼルFAME(脂肪酸メチルエステル)\*
  - ✓ 最大100%の再生可能ディーゼル、HVO(水添植物油)、およびGTL(ガス液化)燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラーにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』(SEBU6250)を参照してください。

\*後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できません(混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラーにお問い合わせください)。

\*\*排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。

## 旋回機構

旋回速度	11.6 rpm	
最大旋回トルク	74.4 kN·m	54,900 lbf·ft

## 質量

運転質量	20,700 kg	45,600 lb
------	-----------	-----------

- 標準足回り、リーチブーム、R2.9(9 ft 6 in)アーム、標準デューティ(GD、General Duty) 0.8 m<sup>3</sup> (1.05 yd<sup>3</sup>) バケット、600 mm (24 in) トリプルグローサシュー、3.7 mt (8,200 lb) カウンタウエイト。

## トラック

オプショントラックシュー幅	600 mm	24 in
オプショントラックシュー幅	700 mm	28 in
オプショントラックシュー幅	790 mm	31 in
シューの数(片側)	45	
トラックローラの数(片側)	7	
キャリアローラの数(片側)	2	

## 駆動系

登坂能力	35 %/70 %	
最高走行速度	5.9 km/h	3.6 mph
最大牽引力 - 標準足回り	205 kN	46,131 lbf

## 油圧システム

メインシステム - 最大流量 - 作業時	442 L/min (221 × 2ポンプ)	116 gal/min (58 × 2ポンプ)
最大圧力 - 装置 - 標準	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 - 走行時	34,300 kPa	4,974 psi
最大圧力 - 旋回時	25,000 kPa	3,625 psi
ブームシリンダ - 内径	120 mm	5 in
ブームシリンダ - 行程	1,260 mm	50 in
スティックシリンダ - 内径	135 mm	5 in
スティックシリンダ - 行程	1,504 mm	59 in
バケットシリンダ - 内径	115 mm	5 in
バケットシリンダ - 行程	1,104 mm	43 in

## 整備交換時の容量

燃料タンク容量	345 L	86.6 gal
冷却系統	25 L	6.6 gal
エンジンオイル	15 L	4.0 gal
旋回ドライブ(各ドライブ)	12 L	3.2 gal
ファイナルドライブ(片側)	4 L	1.1 gal
作動油(全量)	234 L	61.8 gal
作動油タンク	115 L	30.4 gal
尿素水タンク	39 L	10.3 gal

## 規格

ブレーキ	ISO 10265: 2008
キャブ/転倒時運転者保護構造(ROPS、Rollover Protective Structure)	ISO 12117-2:2008
キャブ/オペレータ保護ガード(OPG)(オプション)	ISO 10262:1998 Level II

## 騒音性能

ISO 6395:2008(外部)	101 dB(A)
ISO 6396:2008(キャブ内部)	70 dB(A)

- 開放型の運転席やキャブ(適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態)で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 運転質量および接地圧

	600 mm (24 in) トリプルグローサシュー		700 mm (28 in) トリプルグローサシュー		790 mm (31 in) トリプルグローサシュー	
	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)
<b>ベース車両仕様構成</b>						
<b>トラックローラおよびキャリアローラ付きのベースフレーム</b>						
<b>3.7 mt (8,200 lb) カウンタウエイト + 標準足回り付きベース車両</b>						
リーチブーム + R2.9 (9 ft 6 in) アーム + 0.8 m <sup>3</sup> (1.05 yd <sup>3</sup> ) GDバケット	20,700 (45,600)	47.7 (6.9)	20,900 (46,100)	41.3 (6.0)	21,200 (46,700)	37.1 (5.4)

すべての運転質量には、燃料タンク90%と75 kg (165 lb) のオペレータが含まれます。

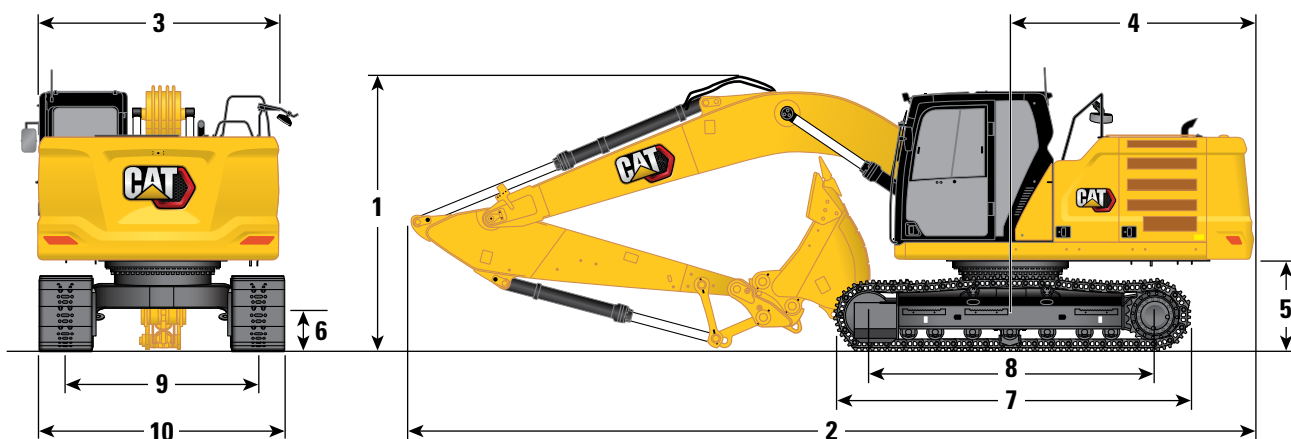
## 主要コンポーネント質量

	kg	lb
ベース車両質量 (3.7 mt (8,200 lb) カウンタウエイト、スイングフレーム、トラックローラ付き標準足回りを含む - ブーム、アーム、バケット、ブームシリンダ2本、スティックシリンダ、バケットシリンダ、トラック、90%燃料タンク、75 kg (165 lb) のオペレータを含まない)	14,000	30,900
<b>トラックシュー:</b>		
幅600 mm (24 in)、厚さ8.5 mm (0.33 in) のトリプルグローサトラックシュー	2,580	5,700
幅700 mm (28 in)、厚さ10 mm (0.39 in) のトリプルグローサトラックシュー	2,790	6,100
幅790 mm (31 in)、厚さ10 mm (0.39 in) のトリプルグローサトラックシュー (ステップエクステンション装備)	3,080	6,800
ブームシリンダ (2本)	340	700
燃料タンク 90%および 75 kg (165 lb) のオペレータの質量	310	700
<b>カウンタウエイト:</b>		
3.7 mt (8,200 lb) カウンタウエイト	3,700	8,200
<b>スイングフレーム:</b>		
標準スイングフレーム	1,880	4,150
<b>足回り:</b>		
標準トラックローラおよび標準キャリアローラ付きの標準ベースフレーム	4,030	8,900
<b>ブーム (ライン、ピン、スティックシリンダを含む):</b>		
リーチブーム 5.7 m (18 ft 8 in)	1,690	3,700
<b>アーム (ライン、ピン、バケットシリンダ、バケットリンケージを含む):</b>		
リーチアーム R2.9B1 (9 ft 6 in)	1,080	2,400
<b>バケット (リンケージなし):</b>		
1.0 m <sup>3</sup> (1.31 yd <sup>3</sup> ) GD	740	1,600
1.0 m <sup>3</sup> (1.31 yd <sup>3</sup> ) ヘビーデューティ (HD、Heavy Duty)	880	1,900
0.8 m <sup>3</sup> (1.05 yd <sup>3</sup> ) GD	660	1,500
<b>クイックカプラ (QC、Quick Coupler):</b>		
ピングラバQC	390	850
<b>ショベルクレーン:</b>		
フック、バルブとセンサ	60	130
<b>共用配管:</b>		
リーチブーム用高圧 (HP、High Pressure) ライン	80	180
リーチアーム用HPライン	50	110
HP用補助バルブ	160	350

# 320 GC油圧ショベルの仕様

## 寸法

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



### ブームオプション

リーチブーム  
5.7 m (18 ft 8 in)

### アームオプション

リーチアーム  
R2.9 B1 (9 ft 6 in)

#### 1 車両の高さ:

キャブ最上部までの高さ	2,960 mm	9 ft 8 in
OPG上部高さ	3,100 mm	10 ft 2 in
ハンドレール部高さ	2,950 mm	9 ft 8 in
ブーム/アーム/バケット装着	3,050 mm	10 ft 0 in
ブーム/アーム装着	2,910 mm	9 ft 7 in
ブーム装着	2,480 mm	8 ft 1 in

#### 2 車両長さ:

ブーム/アーム/バケット装着	9,520 mm	31 ft 3 in
ブーム/アーム装着	9,500 mm	31 ft 2 in
ブーム装着	8,450 mm	27 ft 9 in

#### 3 上部フレーム幅

2,780 mm 9 ft 1 in

#### 4 後端旋回半径

2,830 mm 9 ft 3 in

#### 5 カウンタウエイト下端高さ

1,050 mm 3 ft 5 in

#### 6 最低地上高

470 mm 1 ft 6 in

#### 7 トラック全長

4,070 mm 13 ft 4 in

#### 8 タンブラ中心距離

3,270 mm 10 ft 9 in

#### 9 クローラ中心距離

2,200 mm 7 ft 3 in

#### 10 足回り幅:

600 mm (24 in) シュー	2,800 mm	9 ft 2 in
700 mm (28 in) シュー	2,900 mm	9 ft 6 in
790 mm (31 in) シュー	2,990 mm	9 ft 10 in

#### バケットタイプ

GD

#### バケット容量

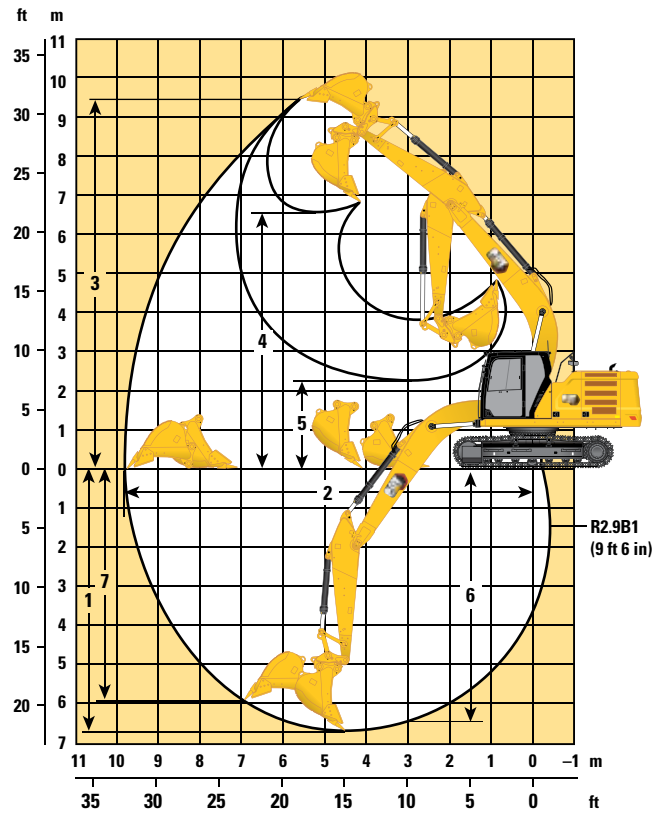
0.80 m<sup>3</sup> 1.05 yd<sup>3</sup>

#### バケットチップの半径

1,490 mm 4 ft 10 in

## 作業範囲

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



### ブームオプション

リーチブーム  
5.7 m (18 ft 8 in)

### アームオプション

リーチアーム  
R2.9 B1 (9 ft 6 in)

1 最大掘削深さ	6,640 mm	21 ft 9 in
2 最大床面掘削半径	9,780 mm	32 ft 1 in
3 最大掘削高さ	9,440 mm	31 ft 0 in
4 最大ダンプ高さ	6,570 mm	21 ft 7 in
5 最小ダンプ高さ	2,250 mm	7 ft 5 in
6 2,440 mm (8 ft) のレベルボトムでの最大掘削深さ	6,470 mm	21 ft 3 in
7 最大垂直掘削深さ	5,990 mm	19 ft 8 in
バケット掘削力 (ISO)	135 kN	30,448 lbf
アーム掘削力 (ISO)	100 kN	22,562 lbf
バケットタイプ	GD	
バケット容量	0.80 m <sup>3</sup>	1.05 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	1,490 mm	4 ft 10 in

# 320 GC油圧ショベルの仕様

## バケット仕様および互換性

	リンケージ	幅		容量		質量		充填率	リーチブーム
		mm	in	m <sup>3</sup>	yd <sup>3</sup>	kg	lb	%	R2.9 (9 ft 6 in)
<b>ピンオン(クイックカブラなし)</b>									
標準デューティ掘削	B	950	37	0.80	1.05	686	1,511	100	●
	B	1,050	41	0.90	1.18	719	1,584	100	●
	B	1,150	45	1.00	1.31	751	1,655	100	◎
ヘビーデューティ掘削	B	950	37	0.80	1.05	796	1,755	100	●
	B	1,050	41	0.90	1.17	835	1,841	100	◎
	B	1,050	41	0.90	1.18	855	1,885	100	◎
法面	B	2,200	86	0.72	0.94	868	1,913	100	●
	B	2,200	86	0.90	1.18	891	1,965	100	◎
ピンオン装着時の最大荷重(積載質量 + バケット)								kg	2,565
								lb	5,655
<b>CATピングラバカブラ装着</b>									
標準デューティ掘削	B	950	37	0.80	1.05	686	1,511	100	◎
	B	1,050	41	0.90	1.18	719	1,584	100	⊖
	B	1,150	45	1.00	1.31	751	1,655	100	○
ヘビーデューティ掘削	B	950	37	0.80	1.05	796	1,755	100	⊖
	B	1,050	41	0.90	1.17	835	1,841	100	⊖
	B	1,050	41	0.90	1.18	855	1,885	100	⊖
法面	B	2,200	86	0.72	0.94	868	1,913	100	◎
	B	2,200	86	0.90	1.18	891	1,965	100	○
カブラ装着時の最大荷重(積載質量 + バケット)								kg	2,145
								lb	4,730

上記の負荷は油圧ショベル規格のEN474-5:2006 + A3:2013に準拠しており、フロントリンケージを地上ラインまで完全に伸ばしてバケットを縮めた状態で、油圧リフト能力の87%、またはチップング容量(バケット転倒容量)の75%を超えないようになっています。

容量はISO 7451:2007に準拠しています。

バケット質量は標準デューティチップ装着時のものです。

### マテリアルの最大密度:

- 2,100 kg/m<sup>3</sup> (3,500 lb/yd<sup>3</sup>)
- ◎ 1,800 kg/m<sup>3</sup> (3,000 lb/yd<sup>3</sup>)
- ⊖ 1,500 kg/m<sup>3</sup> (2,500 lb/yd<sup>3</sup>)
- 1,200 kg/m<sup>3</sup> (2,000 lb/yd<sup>3</sup>)

Caterpillar社では、製品から最大限の価値を得られるように適切なワークツールを使用するようお勧めしています。質量、寸法、流量、および圧力などに関する、Caterpillar社の推奨事項や仕様に沿わないワークツール(バケットを含む)を使用すると、生産性、安定性、信頼性、またはコンポーネントの耐久性が低下するなど、最適な性能を得られない場合があります。また、引きずる、てこのようにこじる、ねじる、重量物を受け止めるなど、ワークツールの誤使用は、ブームおよびアームの耐用年数低下につながります。

## アタッチメント適合ガイド

地域により、ご使用になれないアタッチメントもあります。お客様の地域でご購入いただけるコンフィギュレーションについては、お近くのCatディーラにお問い合わせください。

適合
  \* 作業範囲はフロントのみ
  † 機械に取り付けて使用可能(使用率50%未満)

### ピンオンアタッチメント

ブームの種類		リーチ
スティックの長さ		<b>R2.9 (9 ft 6 in)</b>
油圧ブレーカ	H115 S	✓
	H120 GCサイドマウント	✓
	H120 S	✓
	H130 S	✓†

### CATピングラバカプラアタッチメント

ブームの種類		リーチ
スティックの長さ		<b>R2.9 (9 ft 6 in)</b>
油圧ブレーカ	H115 S	✓†
	H120 GCサイドマウント	✓†
	H120 S	✓†
	H130 S	✓†*

\*作業範囲はフロントのみ

†機械に取り付けて使用可能(使用率50%未満)

# 320 GC標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション 仕様		標準	オプション 仕様
<b>キャブ</b>			<b>油圧システム</b>		
ROPS	✓		ブーム/アーム再生回路	✓	
OPG		✓	電子式メインコントロールバルブ	✓	
高解像度203 mm (8 in) LCDタッチスクリーンモニター	✓		自動暖機運転	✓	
自動バイレベルエアコン	✓		自動2速走行	✓	
モニター操作用ジョグダイヤルおよびショートカットキー	✓		ブームおよびスティックドリフトリダクションバルブ	✓	
キーレスプッシュスタート式のエンジン制御	✓		エレメントタイプのメイン油圧フィルタ	✓	
高さ調整可能なコンソール (工具で3段階に調整)	✓		3ボタンジョイスティック	✓	
固定式の左側コンソール	✓		スライダジョイスティック		✓
機械式サスペンションシート		✓	タンデムタイプの電子式メインポンプ	✓	
エアサスペンションシート		✓	GCのB1リンケージ用バケットシリンダ	✓	
51 mm (2 in) オレンジシートベルト	✓		ブレーカリターンフィルタ回路		✓
コンソール搭載Bluetooth®ラジオ (補助/USBポート付き)	✓		合流/高圧補助回路		✓
12 V DCコンセント	✓		Catピングラバ用クイックカブラ回路		✓
書類収納スペース	✓		<b>足回りと構造</b>		
カップおよびボトルホルダ	✓		600 mm (24 in) トリプルグローサトラックシュー	✓	
開閉可能な2分割式フロントウィンドウ	✓		700 mm (28 in) トリプルグローサトラックシュー		✓
リアウインドの緊急用避難口	✓		790 mm (31 in) トリプルグローサトラックシュー		✓
ラジアルワイパ (ウォッシュ付き)	✓		ベースフレーム上の固定箇所	✓	
開閉式スチール製ハッチ	✓		ボトムガード	✓	
LED車内灯	✓		スィベルガード		✓
ローラ式フロントサンスクリーン	✓		トラベルモータガード	✓	
ローラ式リアサンスクリーン		✓	グリース潤滑式トラックリンク	✓	
フロアマット (水洗い可)	✓		3.7 mt (8,200 lb) カウンタウエイト	✓	
ビーコン対応	✓		シヨベルクレーンパッケージ		✓
<b>エンジン</b>			(次ページに続く)		
CAT® C4.4シングルターボエンジン	✓				
2つのパワーモードを選択可	✓				
オートエンジン回転数コントロール	✓				
オートアイドルリングストップ機能	✓				
標高4,600 m (15,092 ft) まで運転可能、3,000 m (9,840 ft) から出力低下	✓				
52 °C (125 °F) の高い外気温にも対応する冷却機能	✓				
-32 °C (-25 °F) の低温にも対応できる寒冷時始動機能	✓				
プレクリーナ内蔵の2重エレメントエアフィルタ	✓				
電動燃料プライミングポンプ	✓				
リバーシブルの電動冷却ファン	✓				



## 標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション 仕様		標準	オプション 仕様
<b>ブーム、アーム、リンケージ</b>			<b>整備とメンテナンス</b>		
5.7 m (18 ft 8 in) リーチブーム	✓		定期オイルサンプリング (S・O・SSM) ポート	✓	
2.9 m (9 ft 6 in) アーム	✓		QuickEvac™メンテナンス対応		✓
バケットリンケージ (B1ファミリ、リフティングアイなし)	✓		エンジンオイルフィルタおよび燃料フィルタをまとめて配置	✓	
バケットリンケージ (B1ファミリ、ショベルクレーン用リフティングフック付き)		✓	地上レベルの第2エンジンオイルレベルゲージ	✓	
<b>電気系統</b>			<b>安全とセキュリティ</b>		
1,000 CCAメンテナンスフリーバッテリー(×2)	✓		サイド乗車式のサービスプラットフォーム	✓	
集中配置された電気系統ディスコネクトスイッチ	✓		ラジエータスクリーン		✓
プログラム可能な消灯遅延機能付きLED作業灯	✓		統合車両状態管理システム	✓	
LEDシャーシライト、リーチ用左ブームライト	✓		<b>安全とセキュリティ</b>		
LEDシャーシライト、リーチ用左右ブームライト、キャブライト		✓	ブレーカ自動停止機能	✓	
<b>CATテクノロジー</b>			リアビュー/右側サイドビューカメラ	✓	
CAT機械管理			全コントロール装置用ニュートラルレバー (ロックアウト機構)	✓	
VisionLink®	✓ <sup>1</sup>		サービスプラットフォームの滑止めプレートおよび皿頭ボルト	✓	
VisionLinkの生産性		✓ <sup>2</sup>	地上からアクセス可能な、キャブ内のセカンダリエンジンシャットオフスイッチ	✓	
リモートフラッシュ	✓		ロック式ディスコネクトスイッチ	✓	
			旋回アラーム		✓
			右ハンドレールと手すり	✓	
			信号/警告ホーン	✓	
			ポンプコンパートメントの収納トレイ	✓	
			点検用照明		✓

<sup>1</sup>状態、メンテナンスインサイト、状態モニタリングを管理するために、中核となるテレマティクスデータを提供します。より包括的なデータレポートで使用可能なその他の計画詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

<sup>2</sup>VisionLinkのサブスクリプションが必要です。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

## 320 GCアタッチメント

### ディーラ装着のキットおよびアタッチメント

アタッチメントはこれと異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

#### キャブ

- 下部ラジアルワイパ
- レインプロテクタ+キャブライトカバー
- ポリカーボネート製ルーフハッチ
- サンバイザ、スライダ
- P5Aラミネート加工ガラスのキャブフロントウィンドウ
- ツールコントロールのための左/右電気ペダル
- アームレストキット
- デュアルエグジットリアウィンドウキット
- 75 mm (3 in) 巻き取り式シートベルト
- ランチボックス用ネット
- リア収納スペース
- ツールボックス

#### ガード

- スィベルガード
- ラバーサイドバンパガード
- オペレータ保護ガード
- フロントフルガード(メッシュタイプ)
- フロントハーフガード(メッシュタイプ)
- 全体盗難防止ガード

#### メンテナンス

- ダクト対応キット

#### 安全とセキュリティ

- Bluetooth®対応レシーバ

# 320 GCの環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、車両の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サスティナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability.html>をご覧ください。

## エンジン

- CAT® C4.4エンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本2014年排出ガス基準に適合しています。
- CATディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料) または次を上限として、より低い炭素強度燃料を混合したULSD\*\*を使用する必要があります。
  - ✓ 最大20%のバイオディーゼルFAME (脂肪酸メチルエステル) \*
  - ✓ 最大100%の再生可能ディーゼル、HVO (水添植物油)、およびGTL (ガス液化) 燃料適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』(SEBU6250)を参照してください。  
\*後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます (混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください)。  
\*\*排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。

## エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134a (地球温暖化係数=1,430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は0.85 kg (1.9 lb) で、CO<sub>2</sub>換算で1.216メートルトン (1.340トン) 相当になります。

## 塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度 (ppm単位) は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01 %
  - カドミウム < 0.01 %
  - クロム < 0.01 %
  - 鉛 < 0.01 %

## 騒音性能

ISO 6395:2008 (外部) - 101 dB(A)

ISO 6396:2008 (キャブ内部) - 70 dB(A)

- 開放型の運転席やキャブ (適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態) で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント (DEAC) およびCATエクステンデッドライフクーラント (ELC) は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advancedは、EU Ecolabel認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

## 機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
  - 先進の油圧システムが出力と効率のバランスを維持
  - スマートモードは、機械のパワーを掘削要件に自動的に一致させます。
  - エコモードは、軽度の用途の場合に燃料消費の低減を支援
  - 延長されたサービス間隔により、メンテナンスコストの削減が可能です。
  - プログラム可能な高効率の冷却ファンは必要時にのみ作動します。
  - 最新の作動油フィルタにより、交換間隔が3,000時間と長寿命になります。

## リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
スチール製	82.67 %
鉄	5.61 %
非鉄金属	2.68 %
合金	1.28 %
金属および非金属混合物	1.07 %
プラスチック	1.35 %
ゴム	0.08 %
非金属混合物	0.23 %
油水類	3.33 %
その他	1.70 %
未分類	0.00 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714:2008 (土木建設機械類 - リサイクル可能率および回収可能率 - 用語および計算方法) によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な重量による割合 (パーセント単位の重量分率) として定義されます。

部品表のすべての部品は、まずISO 16714:2008および日本CEMA (Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会) の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 - 97%



オフロード法2014年  
基準適合



国土交通省  
超低騒音型建設機械

CAT製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト [www.cat.com](http://www.cat.com) をご覧ください。

© 2024 Caterpillar  
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、「Caterpillar Corporate Yellow」、「Power Edge」およびCat「Modern Hex」のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。VisionLinkはCaterpillar社の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ3768-00 (09-2024)  
ビルド番号: 07H  
(Japan)

